

「舞鶴市子ども・子育て支援事業計画」
中間年次における調査・評価事業

教育・保育施設等に係る
市民ニーズアンケート調査報告書

(案)

平成29年12月
舞鶴市健康・子ども部

教育・保育施設等に係る市民ニーズアンケート調査結果のまとめ

- 1 目的 … 就学前児童数は年々減少している一方で、就園児数は増加の傾向にある中で、特に乳児の保育ニーズの高まりが見受けられ、希望する園に就園できない子どもが増加している。このため、保育に関する実情やニーズを的確に把握するとともに、今後の傾向を見通すことにより、保育サービスのさらなる充実につなげていく。
- 2 対象 … 就学前児童（就学前の子どもがいる世帯を対象に無作為抽出）
- 3 期間 … 平成29年7月3日～平成29年7月25日
- 4 配布数 … 2400件
- 5 回収数 … 1020件
- 6 回収率 … 42.5%

（平成25年度における同種調査 41.8%、835人/2000人）

7 調査結果の概要

別紙のとおり

※ 調査項目のうち、H25年度の調査項目と同様のものについては比較対照を行った。

8 調査結果の活用

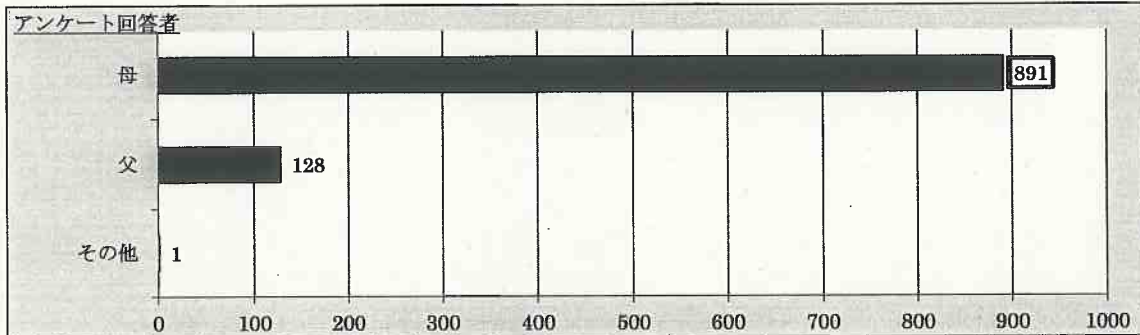
本調査結果をふまえ、今後の保育の量の見込み等を推計し、必要な対応策を講じる。

調査項目

1 家族の状況	
1	回答者の続柄
2	配偶者の有無
3	居住地区(大浦・東・中・西・加佐)
4	子どもの生年月
5	就学前の兄弟姉妹の有無
6	子どもの同居者・近居者
2 保護者の就労状況	
7	現在の就労状況[父・母別、有無]
8	【就労者】就労形態(正規社員・パート・派遣・自営 等)
9	就労日数・時間
10	就労地区
11	家を出る時刻と帰宅時刻
12	[フルタイム就労者]パートタイム等への転換希望
13	[パート就労者]フルタイムへの転換希望
14	【未就労者】就労希望の有無
15	就労していない理由
3 幼稚園・保育所等の利用状況	
16	現在の利用状況(有無)
17	【利用者】利用施設の種別(幼稚園・保育所・事業所内保育所・子育てひろば・ファミサポ 等)
18	利用日数・時間
19	利用している施設の地区
20	【未利用者】利用していない理由
21	【利用者・未利用者とも】利用したいと考える施設・事業
22	利用したいと考える施設の地区
23	利用したい日数・時間
24	利用したいと考える理由
4 クロス集計	
C1	子どもの年齢別・母親の就労形態集計表
C2	年齢別家庭類型
C3	年齢別家庭類型別就園希望率集計表
5 自由記述	
子育てに関する困りごと、要望など	

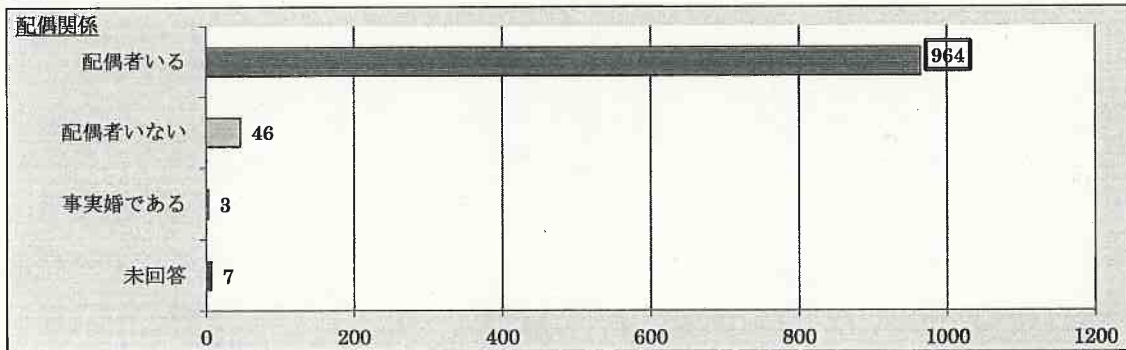
アンケート調査結果

問 1



選択項目	H29 調査 1020 人 割合 (%)	H25 調査 835 人 割合 (%)
母	87.4	92.5
父	12.5	7.4
その他	0.1	0.5

問 2

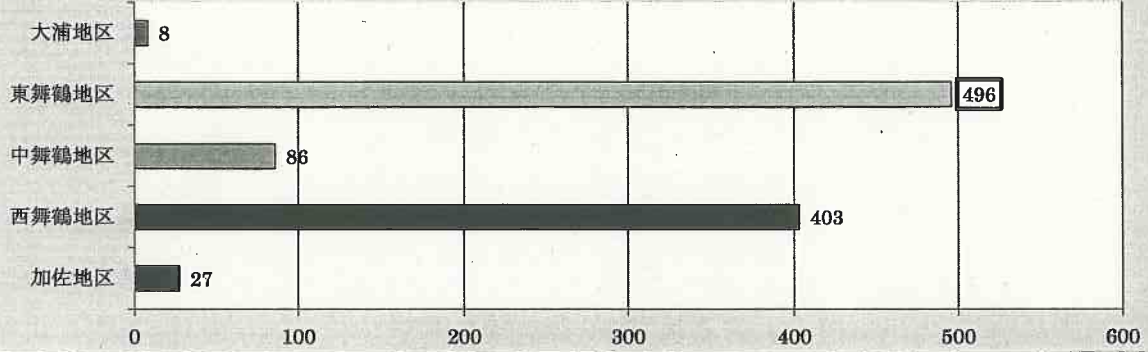


選択項目	H29 調査 1020 人 割合 (%)	H25 調査 835 人 割合 (%)
配偶者いる	94.5	95.4
配偶者いない	4.5	4.0
事実婚である	0.3	0.6
未回答	0.7	0.0

- ひとり親家族が4.5%であり、前回に比べて0.5ポイント増加し、22人に1人は、ひとり親家庭となっている。

問 3

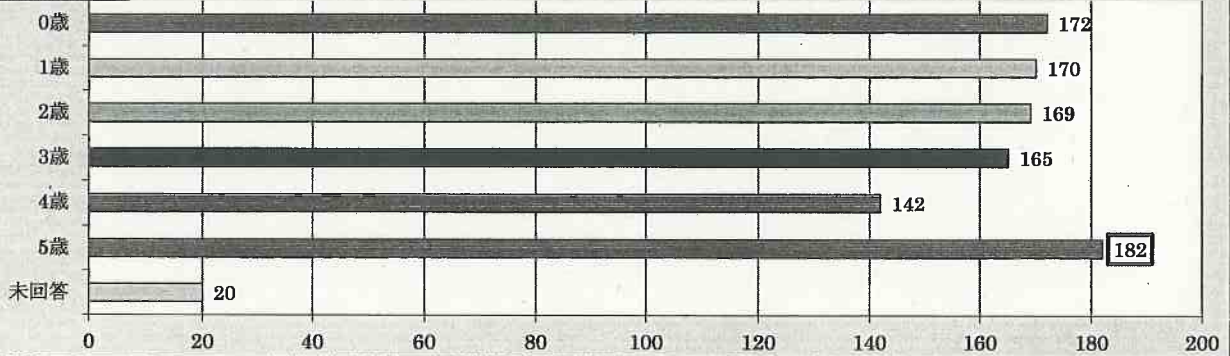
居住地区



選択項目	H29 調査 1020 人 割合 (%)	H25 調査 835 人 割合 (%)
大浦地区	0.8	1.6
東舞鶴地区	48.7	52.5
中舞鶴地区	8.5	8.5
西舞鶴地区	39.5	34.1
加佐地区	2.6	2.8

問 4

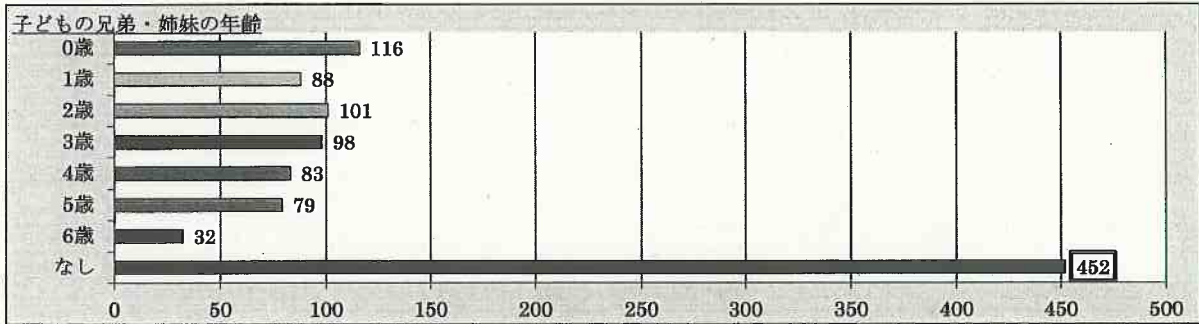
子どもものの年齢



選択項目	H29 調査 1020 人 割合 (%)	H25 調査 835 人 割合 (%)
0歳	16.8	27.4
1歳	16.7	14.3
2歳	16.6	15.3
3歳	16.2	15.4
4歳	13.9	13.3
5歳	17.8	13.8
未回答	2.0	0.5

問 5

【複数回答あり】

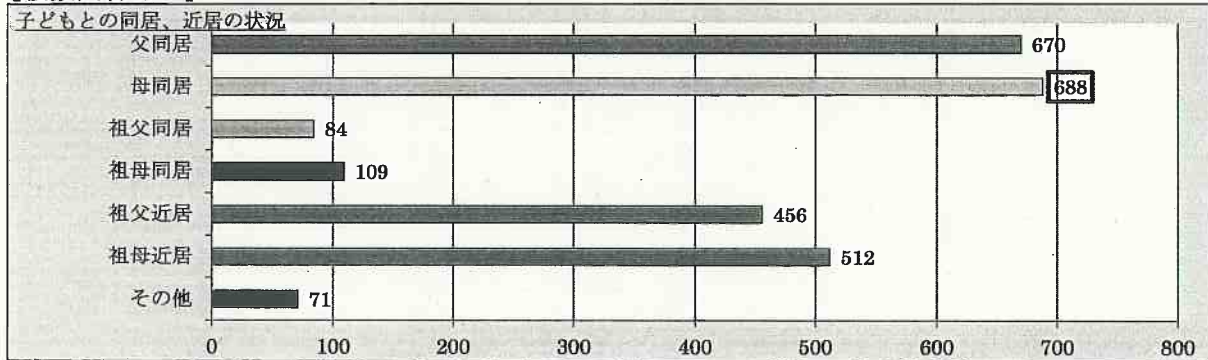


選択項目	H29 調査 1020 人・割合 (%)
0歳	11.4
1歳	8.6
2歳	9.9
3歳	9.6
4歳	8.2
5歳	7.8
6歳	3.2
なし	44.3

☛ 約44%が1人っ子世帯となっている。

問 6

【複数回答あり】

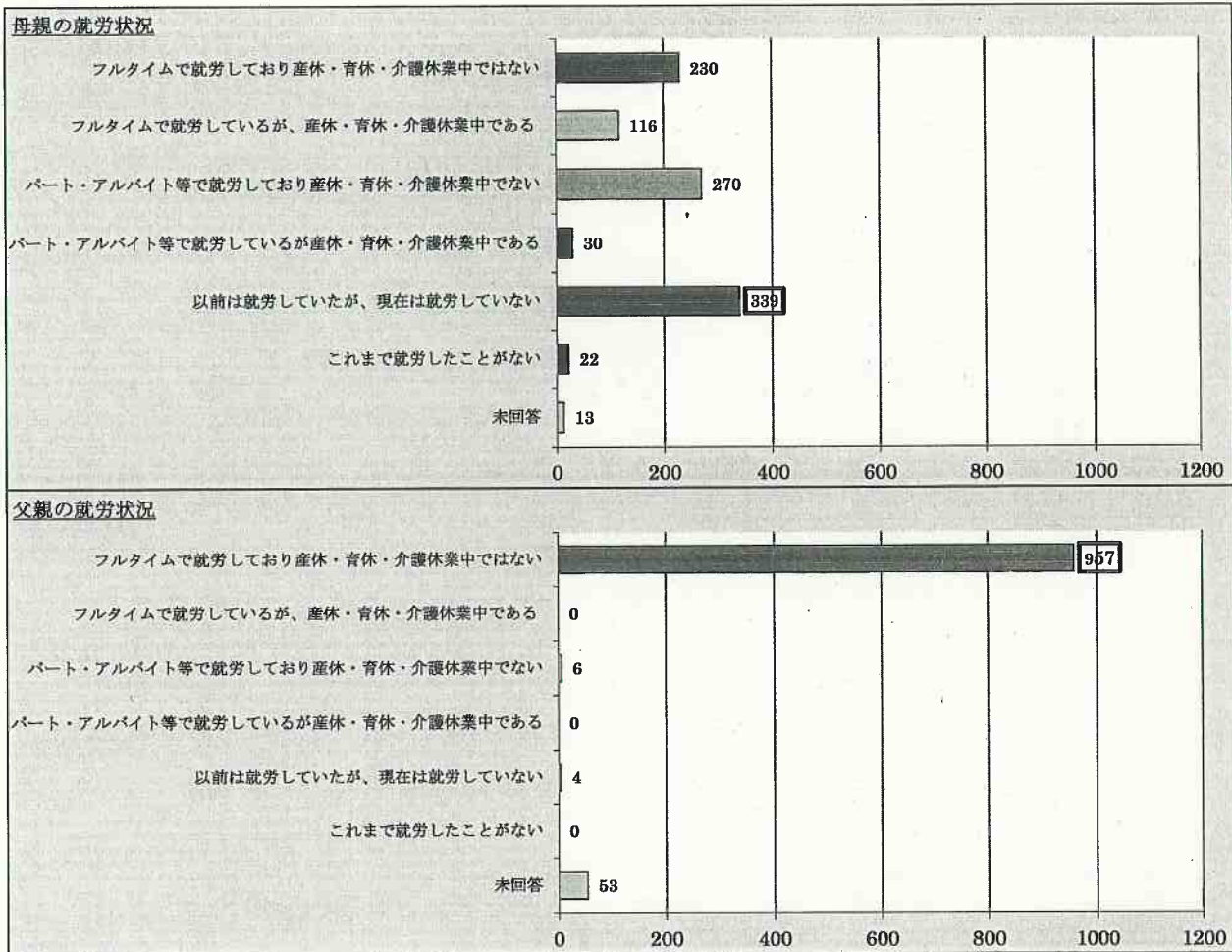


選択項目	H29 調査 1020 人・割合 (%)	H25 調査 835 人・割合 (%)
父同居	65.7	73.2
母同居	67.5	76.4
祖父同居	8.2	12.0
祖母同居	10.7	14.3
祖父近居	44.7	40.1
祖母近居	50.2	45.7
その他	7.0	5.6

☛ 前回と比べて祖父母との同居の割合が下がり、核家族化が進行していると考えられる。

また、祖父母との同居と近居の合計割合は、前回の祖父母との合計割合とほぼ同じであることから、祖父母の自宅近くに転居されているケースが多いと考えられる。

問 7

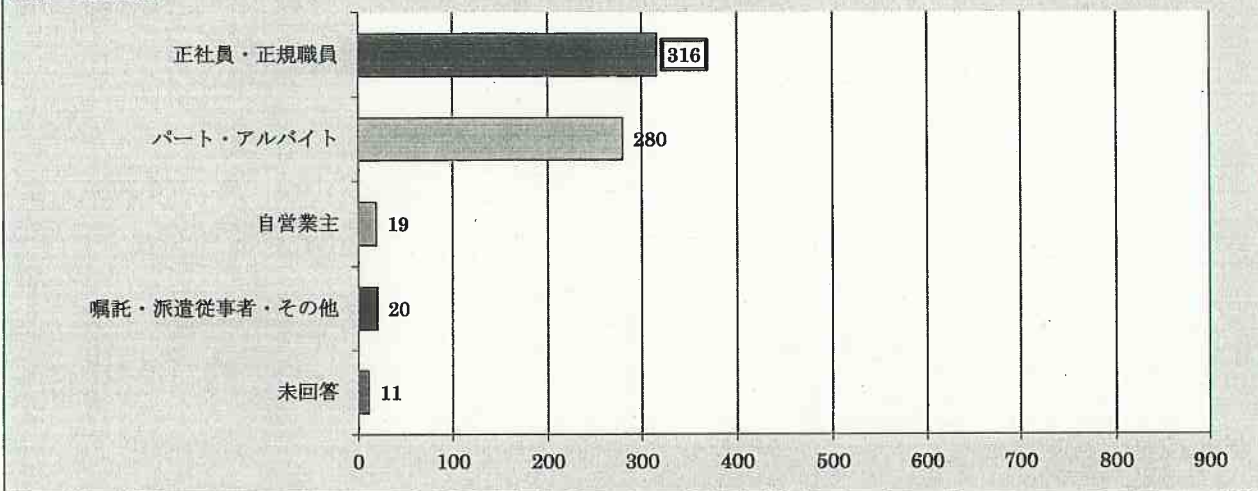


選択項目	H29 調査 647 人	H25 調査人	H29 調査 647 人	H25 調査人
	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
	母		父	
フルタイムで就労、産休・育休・介護休業中ではない	22.5	17.7	93.9	92.1
フルタイムで就労、産休・育休・介護休業中である	11.4	10.9	0.0	0.6
パート・アルバイト等で就労、産休・育休・介護休業中でない	26.6	22.0	0.6	0.4
パート・アルバイト等で就労、産休・育休・介護休業中である	2.9	1.8	0.0	0.0
以前は就労、現在は就労していない	33.2	41.1	0.4	1.1
これまで就労したことがない	2.2	4.8	0.0	0.1
未回答	1.2	1.7	5.1	5.7

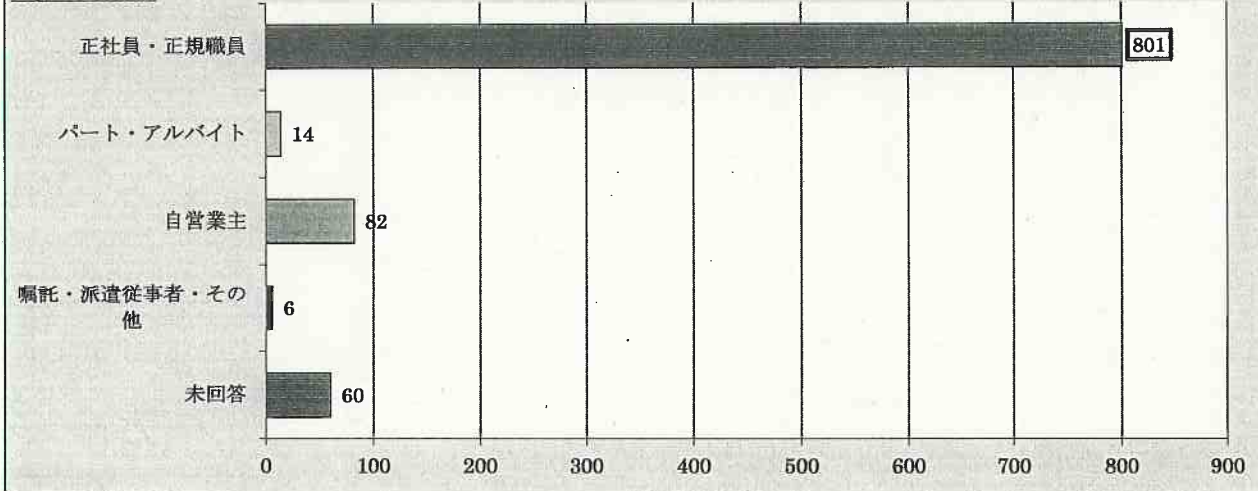
☛ 前回と比較し、母親の就労割合が大きく伸びており、夫婦共働きが進行している。

問 8

母親の就労形態



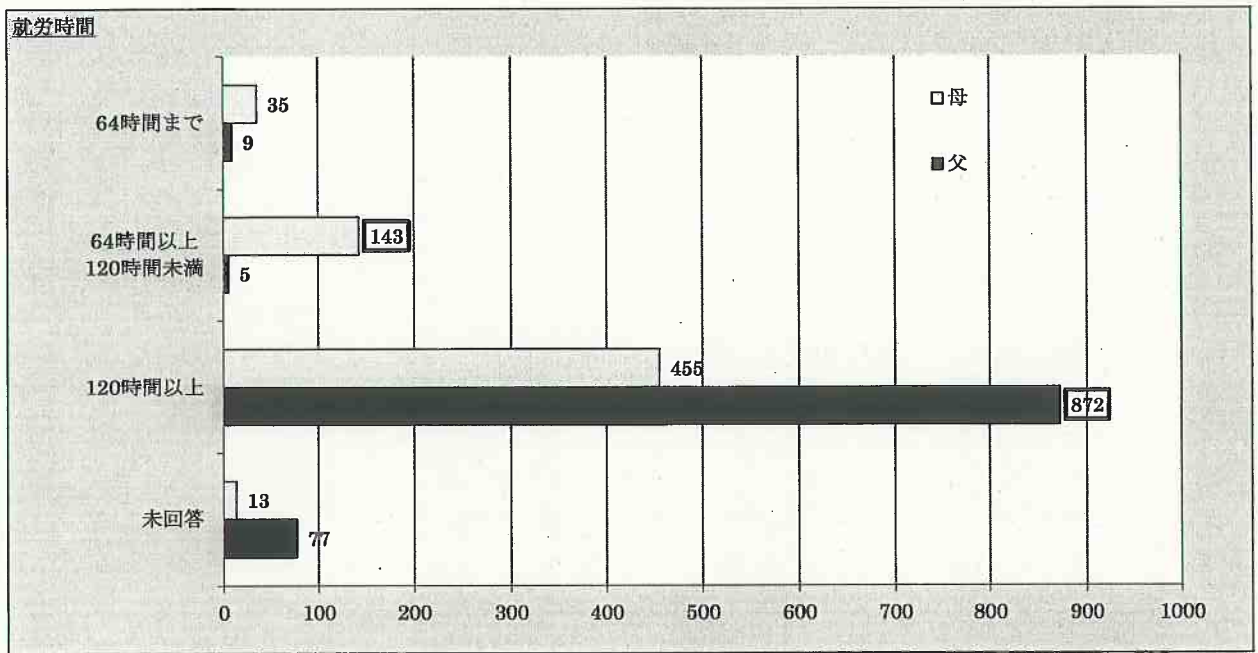
父親の就労形態



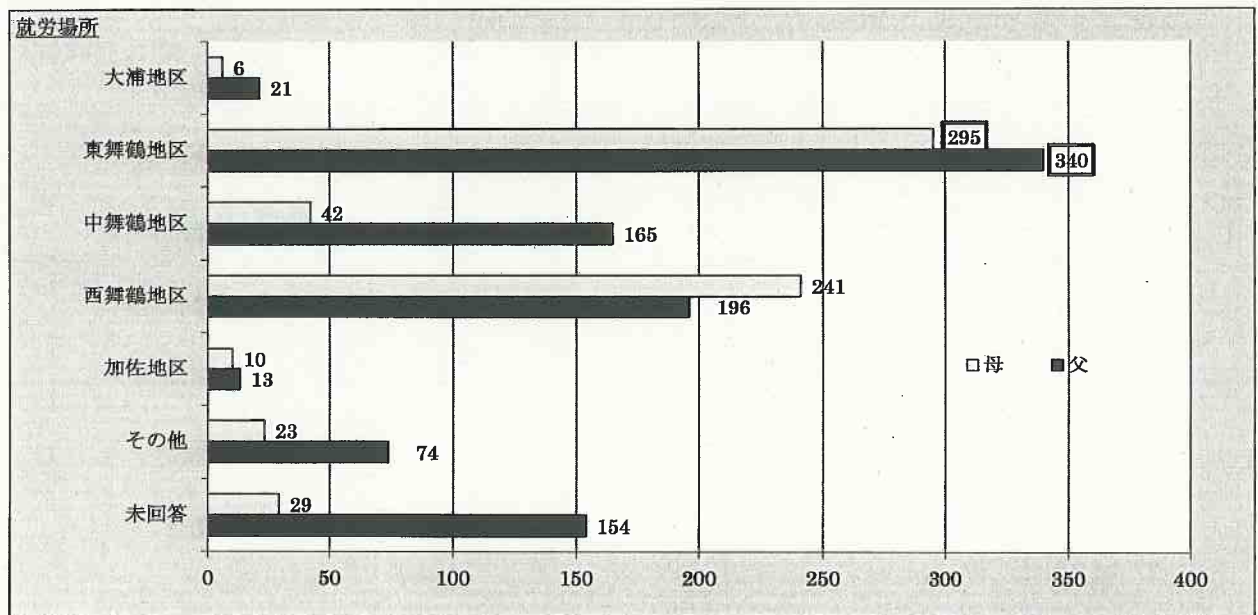
選択項目	H29 調査 647 人	H29 調査 647 人
	割合 (%)	割合 (%)
	母	父
正社員・正規職員	48.7	83.1
パート・アルバイト	43.3	1.5
自営業主	2.9	8.5
嘱託・派遣従事者・その他	3.1	0.6
未回答	2.0	6.3

☛ 就労している母親の雇用形態は、正規と非正規がほぼ同じ割合となっている。

問 9

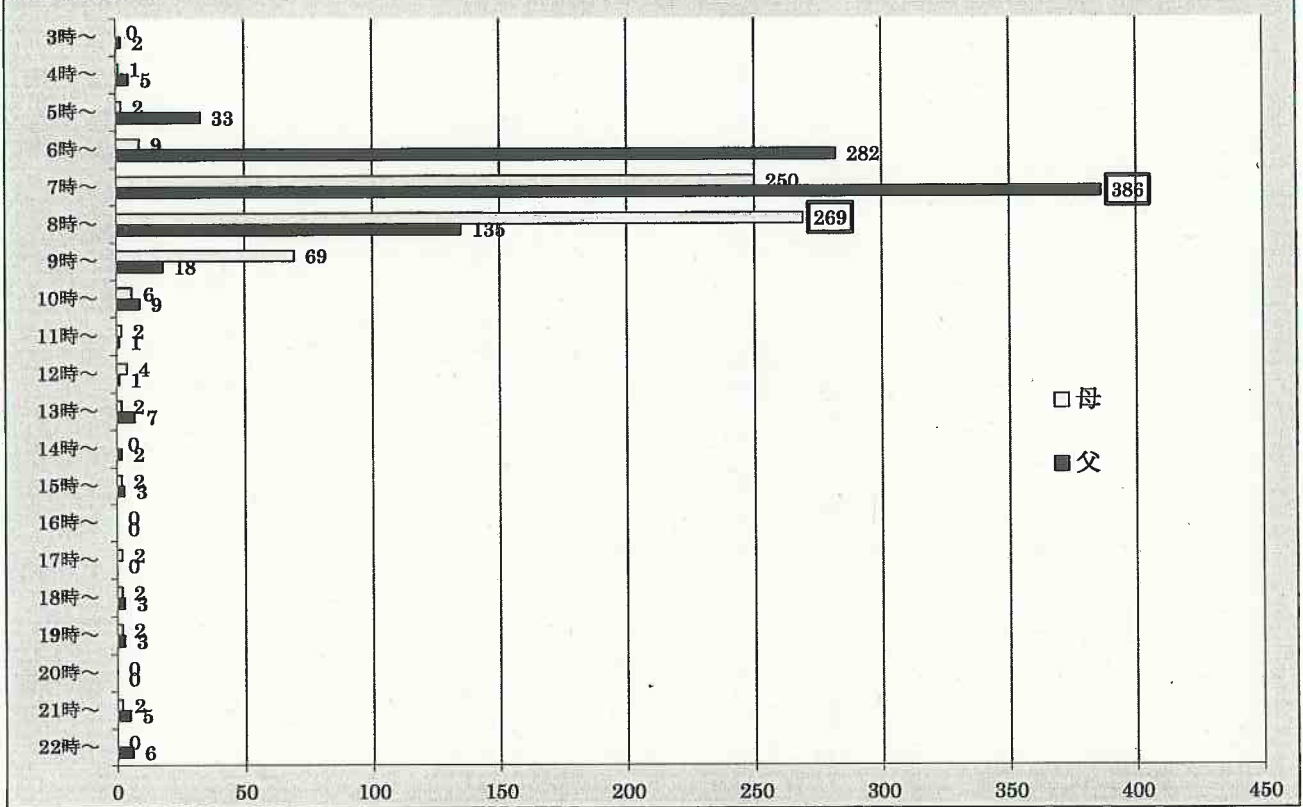


問 10

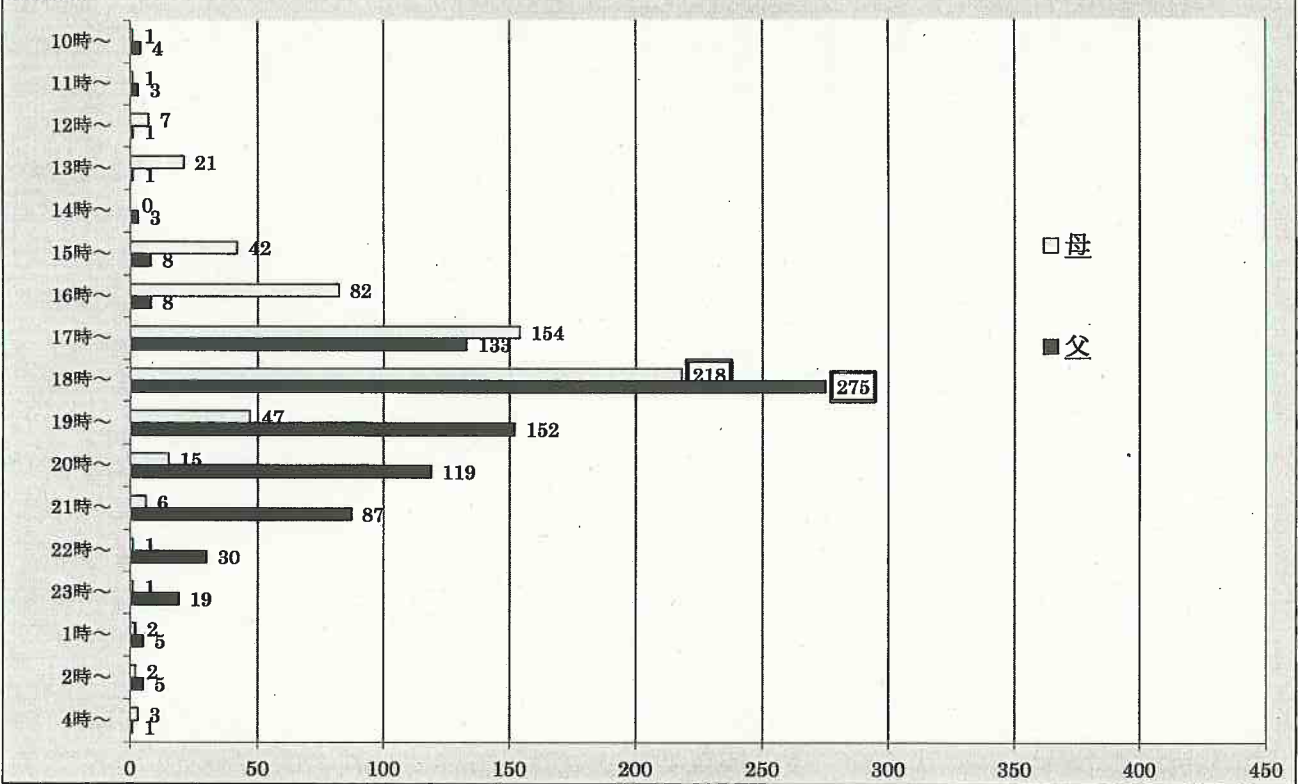


問 11

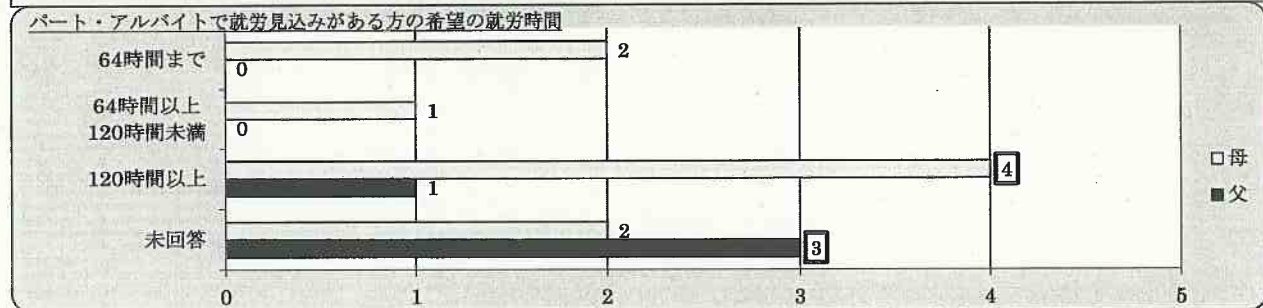
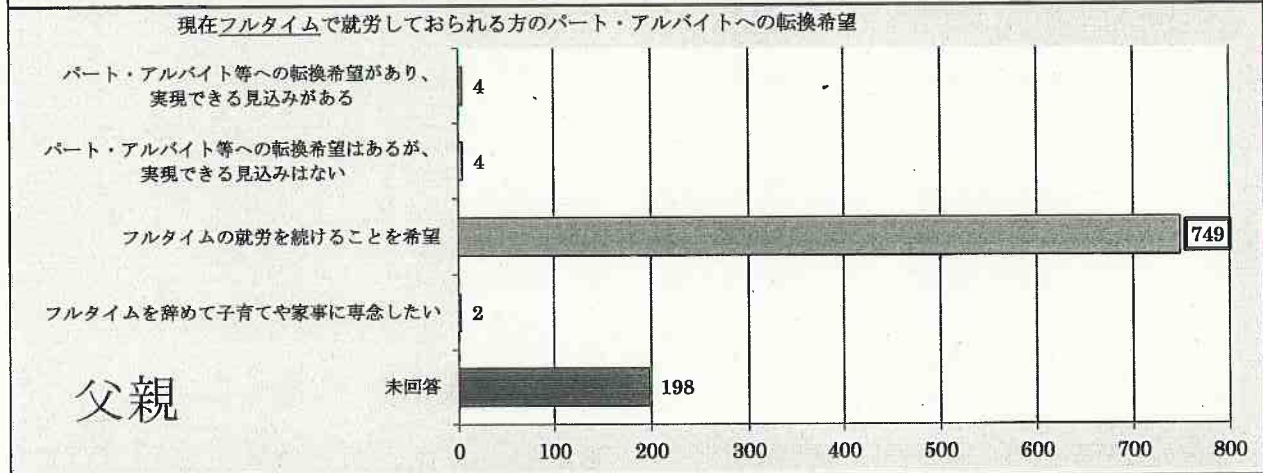
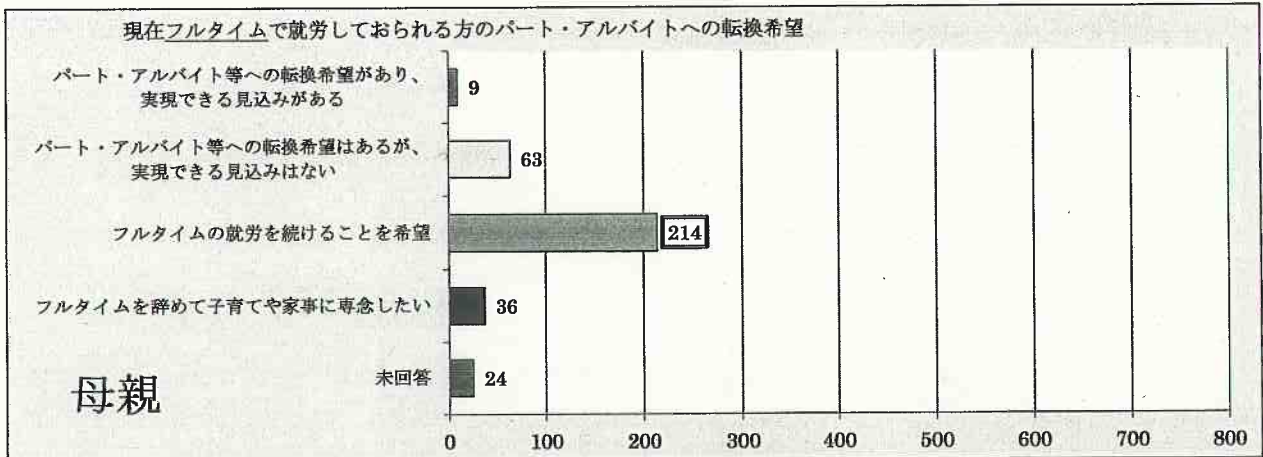
家を出る時刻



帰宅時刻



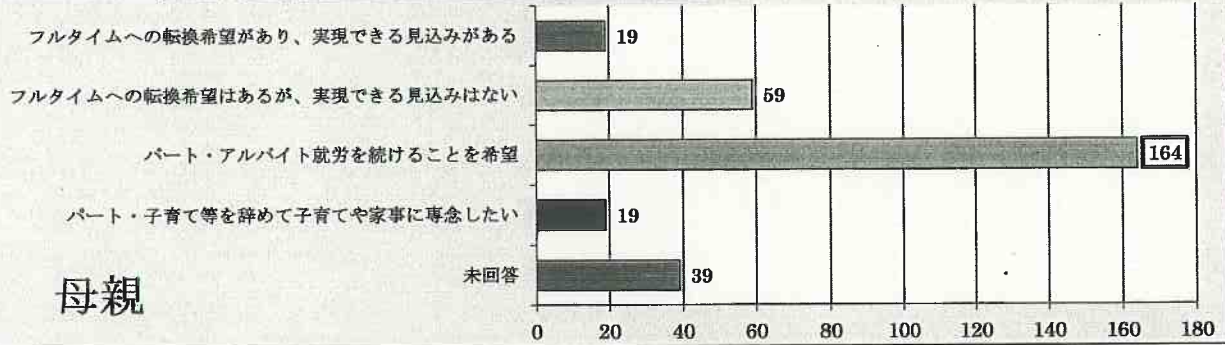
問 12



選択項目	H29年調査 346人 割合 (%)		H29年調査 958人 割合 (%)	
	母	父	母	父
パート・アルバイト等への転換希望があり、 実現できる見込みがある	2.6	0.4	0.4	0.4
パート・アルバイト等への転換希望はあるが、 実現できる見込みはない	18.2	0.4	0.4	0.4
フルタイムの就労を続けることを希望	61.9	78.3	78.3	0.2
フルタイムを辞めて子育てや家事に専念したい	10.4	0.2	0.2	0.2
未回答	6.9	20.7	20.7	20.7

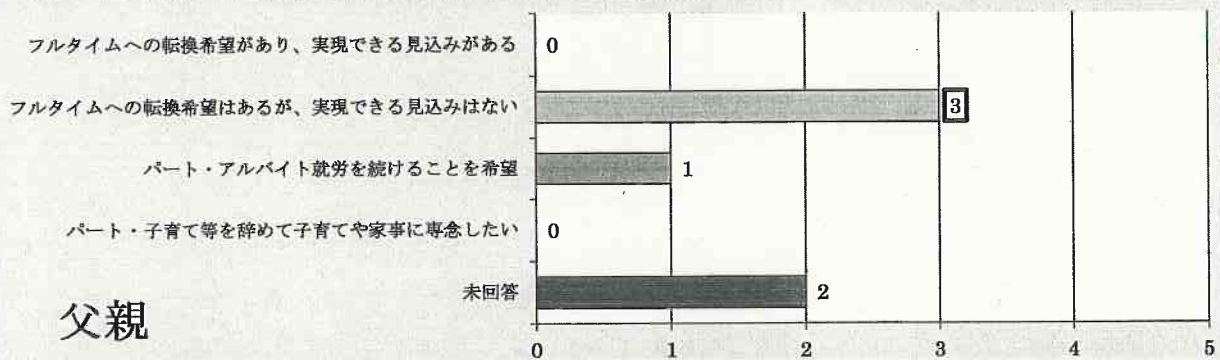
問 13

現在、パート・アルバイトで就労しておられる方のフルタイムへの転換希望



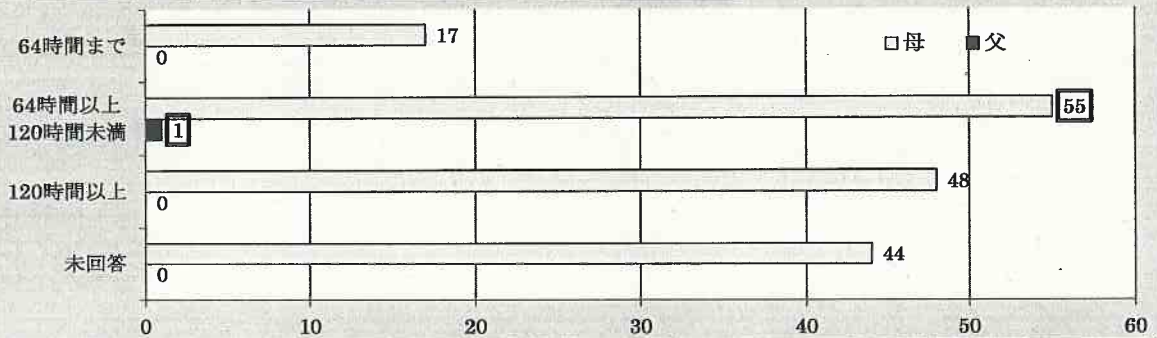
母親

現在、パート・アルバイトで就労しておられる方のフルタイムへの転換希望



父親

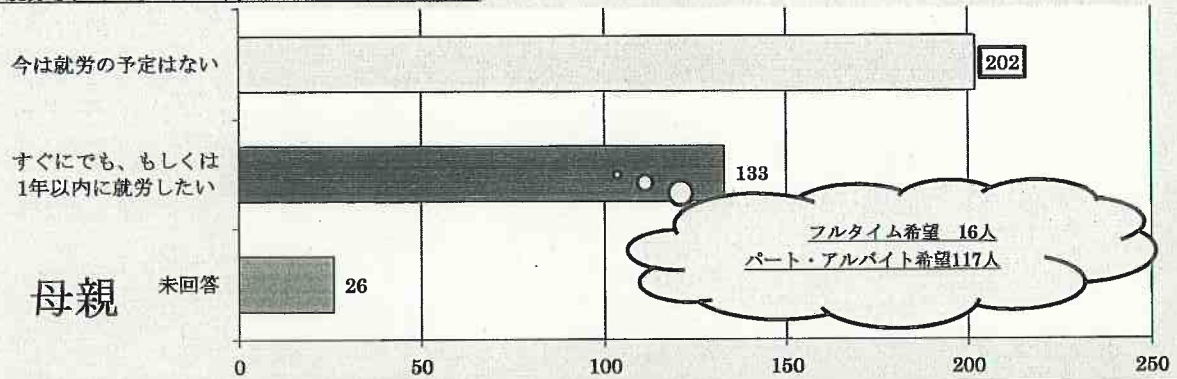
現在パート・アルバイトをすでにしておられる方のパート・アルバイトの希望就労時間



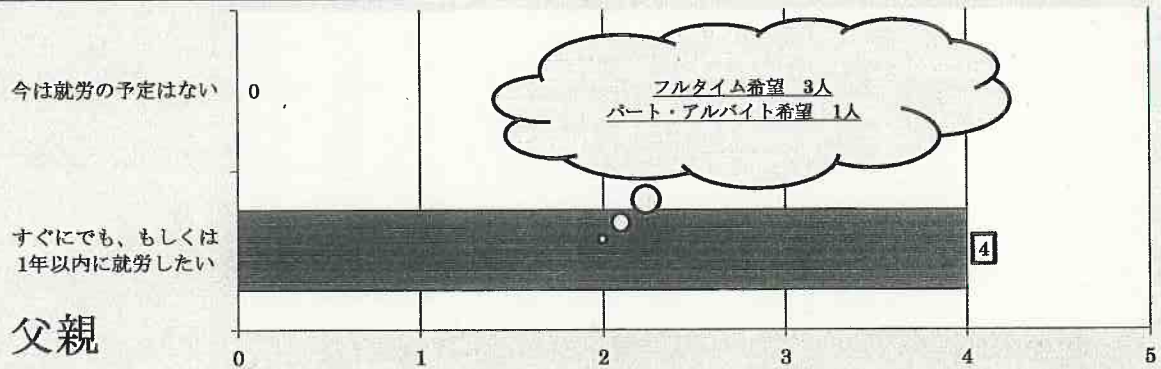
選択項目	H29年調査 301人 割合 (%)	H25 調査 119人 割合 (%)	H29年調査 6人 割合 (%)
	母		父
フルタイムへの転換希望があり、 実現できる見込みがある	6.3	7.0	0.0
フルタイムへの転換希望はあるが、 実現できる見込みはない	19.6	27.6	50.0
パート・アルバイト就労を続ける事を希望	54.5	53.8	16.7
パート・子育て等を辞めて 子育てや家事に専念したい	6.3	6.0	0.0
未回答	13.3	6.0	33.3

問 14

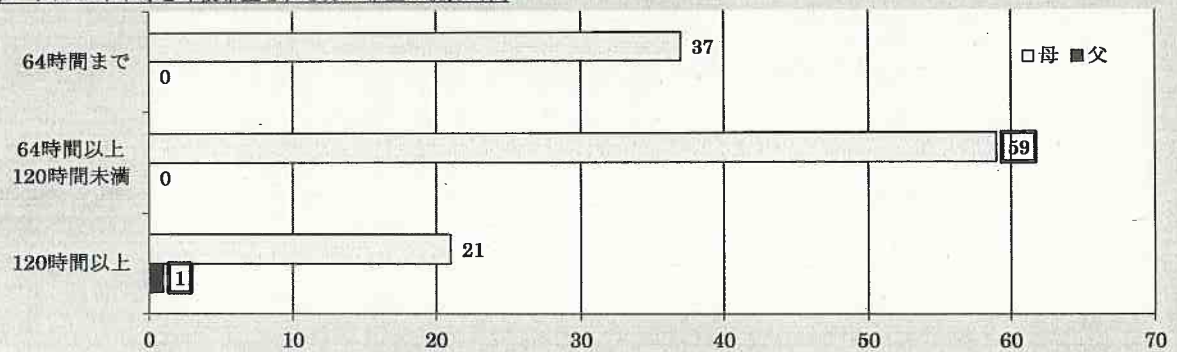
現在、就労されていない方で今後就労したい希望がある方



現在、就労されていない方で今後就労したい希望がある方



パート・アルバイト等を今後希望される方の希望の就労時間



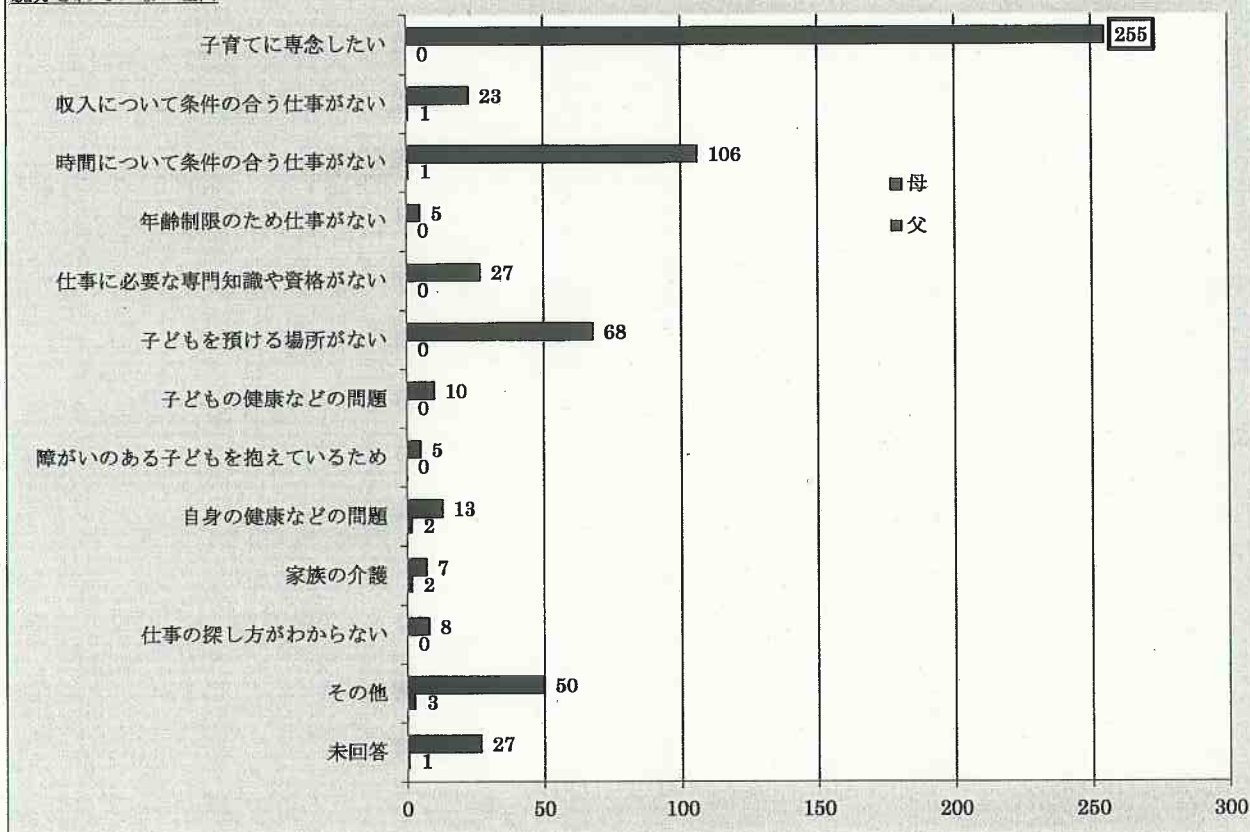
選択項目	H29年調査 361人	H25調査 人	H29年調査 4人
	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
今は就労の予定はない	56.0	70.8	0.0
すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	36.8	22.7	100.0
未回答	7.2	6.5	0.0

前回と比較し、母親の「今は就労予定はない」が14.8ポイント低くなっている一方で、「1年以内に就労したい」が9.1ポイント高くなっており、就労希望が増加している。

問 15

【複数回答あり】

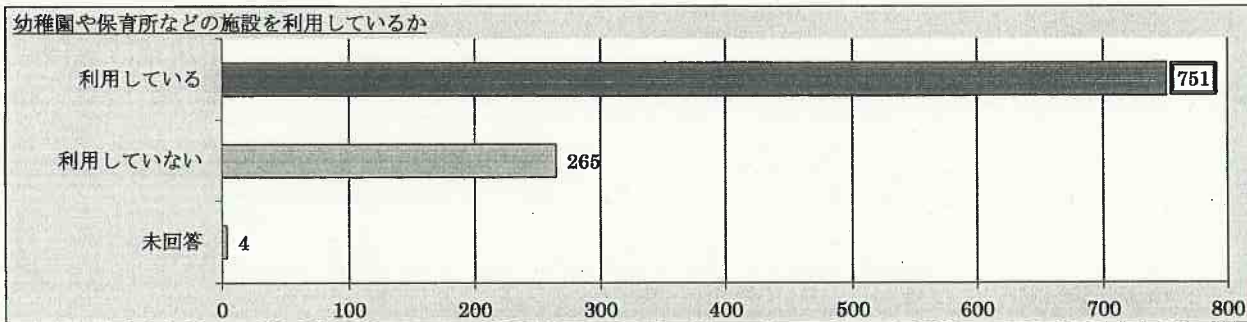
就労されていない理由



選択項目	H29年調査 361人	H29年調査 4人
	割合 (%)	割合 (%)
	母	父
子育てに専念したい	70.6	0.0
収入条件の合う仕事がない	6.4	25.0
時間について条件の合う仕事がない	29.4	25.0
年齢制限のため仕事がない	1.4	0.0
仕事に必要な専門知識や資格がない	7.5	0.0
子供を預ける場所がない	18.8	0.0
子供の健康等の問題	2.8	0.0
障害のある子供を抱えているため	1.4	0.0
自身の健康等の問題	3.6	50.0
家族の介護	1.9	50.0
仕事の探し方がわからない	2.2	0.0
その他	13.9	100.0
未回答	7.5	25.0

就労されていない理由は、「子育てに専念したい」が最も高く、次に、「時間について条件の合う仕事がない」が続いている。

問 16

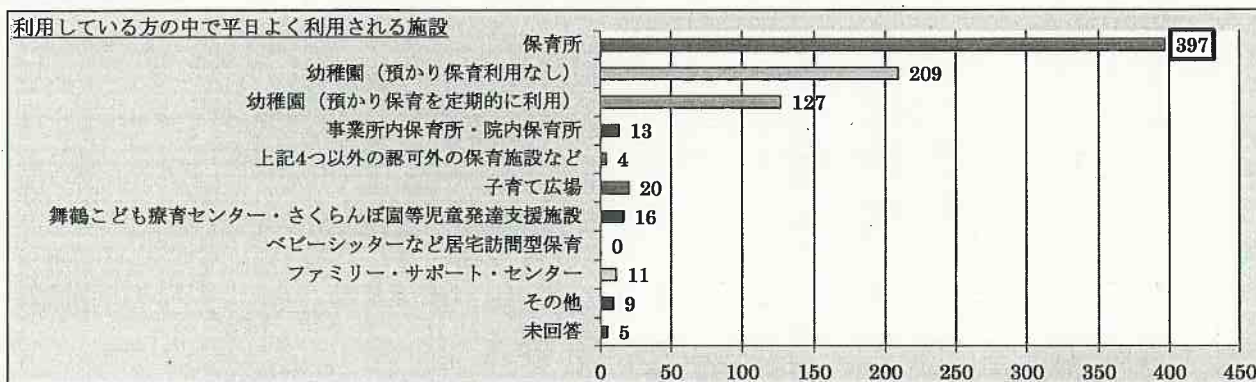


選択項目	H29 調査 1020 人 割合 (%)	H25 調査 835 人 割合 (%)
利用している	73.6	62.7
利用していない	26.0	36.1
未回答	0.4	1.2

☛ 保育所等の施設利用者が大きく増加している。

問 17

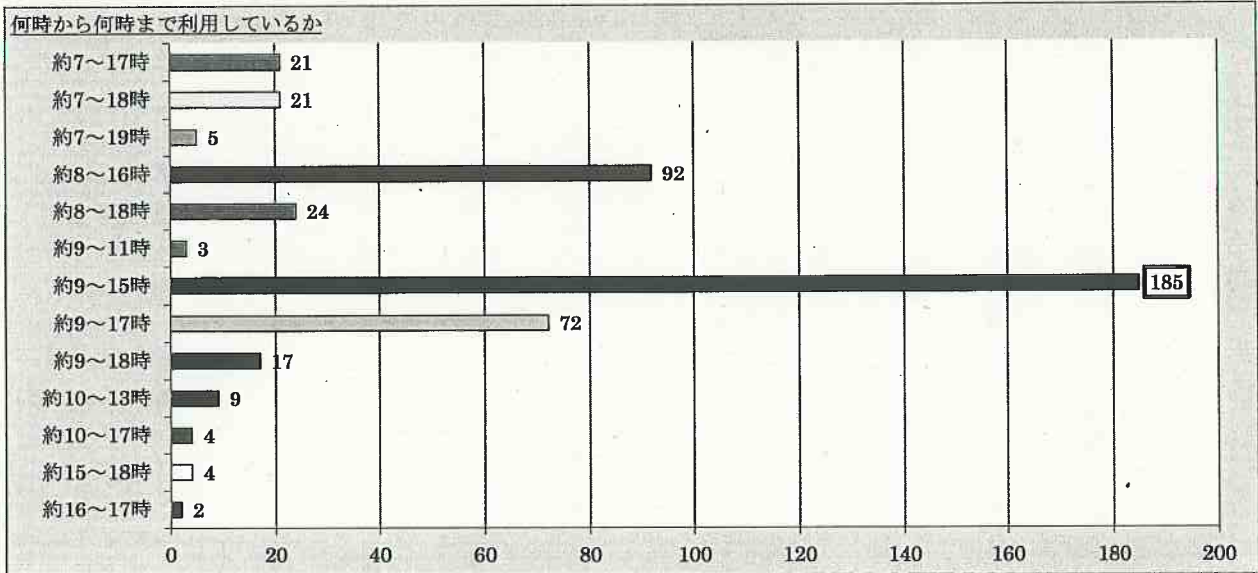
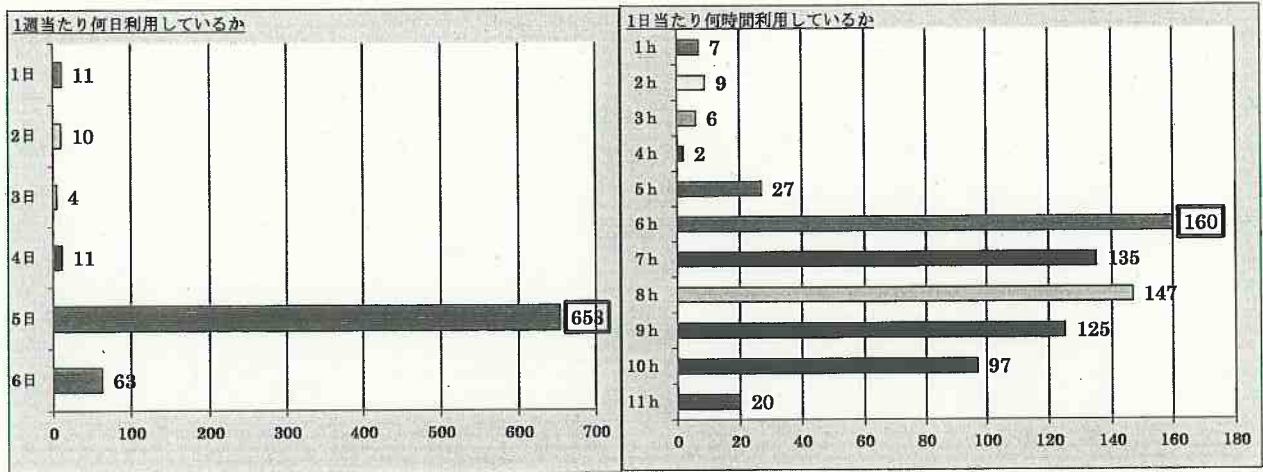
【複数回答あり】



選択項目	H29 調査 751 人 割合 (%)	H25 調査 53 人 割合 (%)
保育所	52.9	45.5
幼稚園 (預かり保育利用なし)	27.8	34.8
幼稚園 (預かり保育を定期的に利用)	16.9	13.5
事業所内保育所・院内保育所	1.7	2.8
上記4つ以外の認可外の保育施設等	0.5	0.9
子育て広場	2.7	—
療育センター・さくらんぼ園等児童発達支援施設	2.1	2.6
ベビーシッターなど居宅訪問型保育	0.0	0.0
ファミリーサポートセンター	1.5	0.4
その他	1.2	0.4
未回答	0.7	—

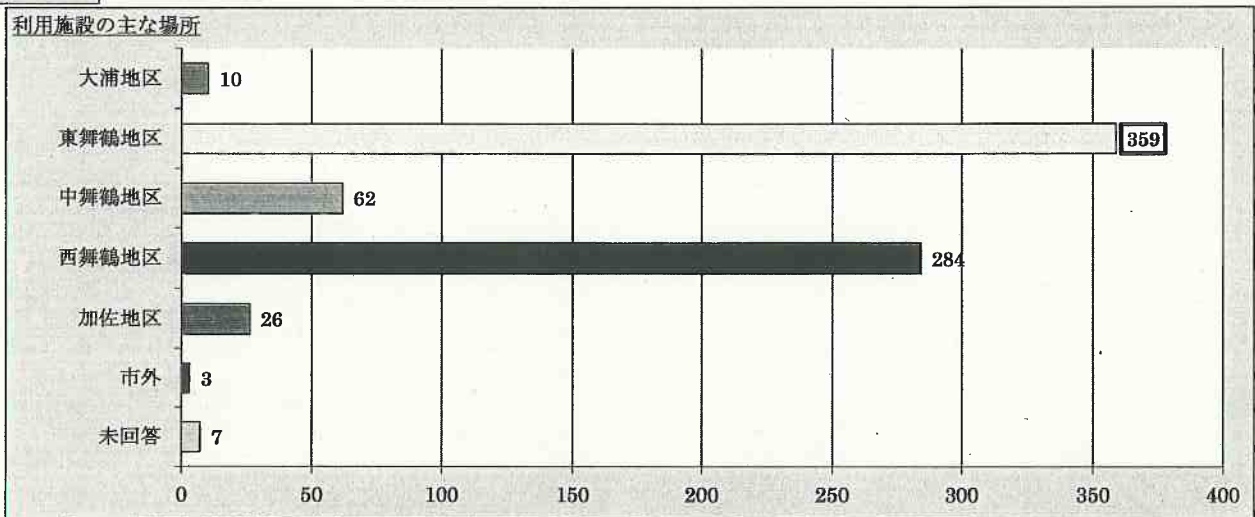
☛ 利用している施設は、「保育所」が52.9%、「幼稚園」が44.7%であり、この2施設が大半を占めている。

問 18



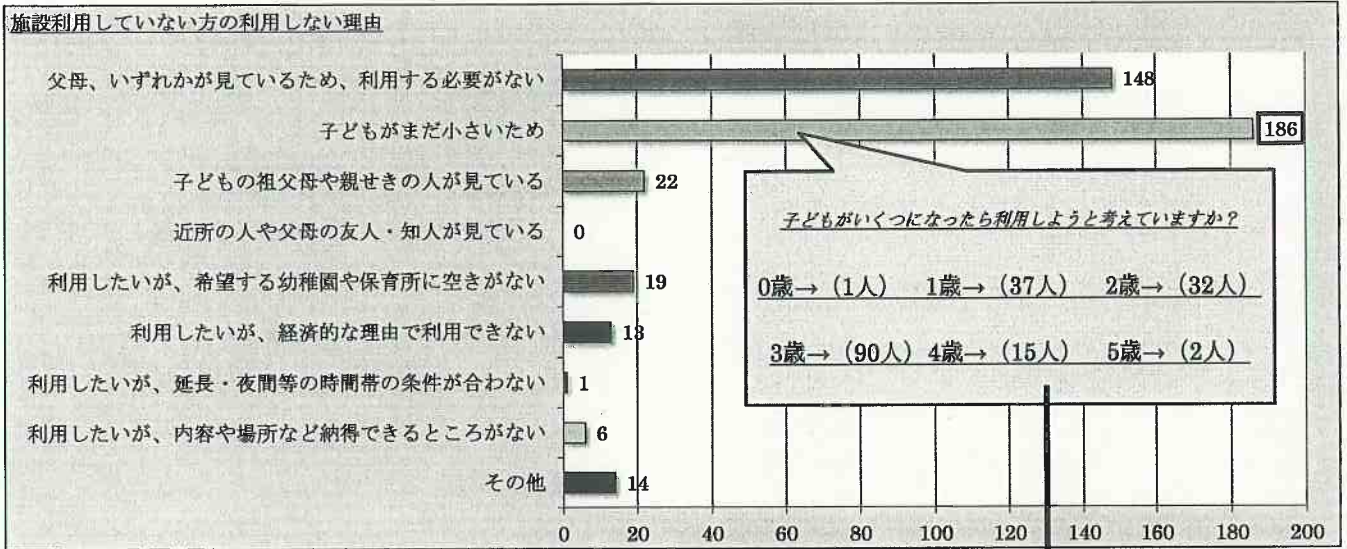
☛ 保育所の利用時間は分散するため、幼稚園の利用時間となる9時～15時が最も多くなっている。

問 19



問 20

【複数回答あり】



選択項目	H29 調査 265 人 割合 (%)	H25 調査 298 人 割合 (%)
父母いずれかが見ている	55.8	49.0
子供がまだ小さいため	70.2	72.1
子供の祖父母や親戚の人が見ている	8.3	5.4
近所の人や父母の友人・知人が見ている	0.0	0.3
利用したいが希望する保育所等に空きがない	7.2	1.0
利用したいが経済的な理由で利用できない	4.9	8.7
利用したいが延長・夜間等時間条件が合わない	0.4	0.3
利用したいが内容や場所等納得できない	2.3	1.0
その他	5.3	8.7

「子どもがまだ小さいため」が70.2%で最も多い。

また、「希望する保育所等に空きがない」という理由が大きく増加しており、入所待ちのケースが増加している。

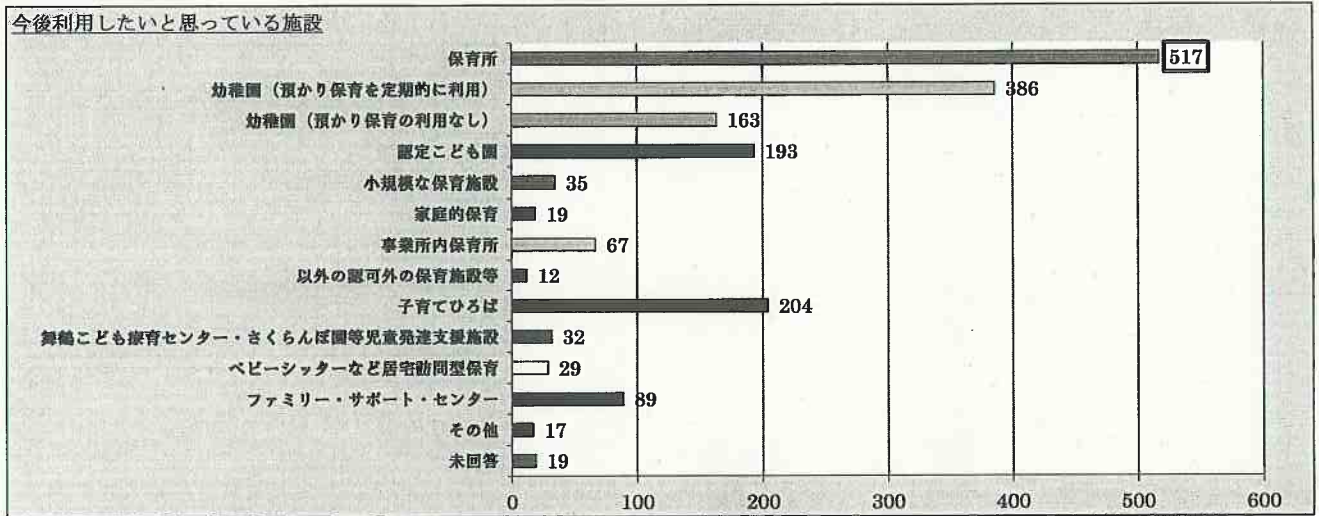
「経済的な理由で利用できない」が減少しているが、低所得者等に対する行政支援の成果であると考えられる。

☆いくつになったら利用したいか (186人対象)

3歳 (90人、48.8%)、1歳 (37人、19.9%)、
2歳 (32人、17.2%)

「子どもがまだ小さいため」の回答に対して、「いくつになったら利用したいか」については、「3才」が48.8%と最も多い。

【複数回答あり】

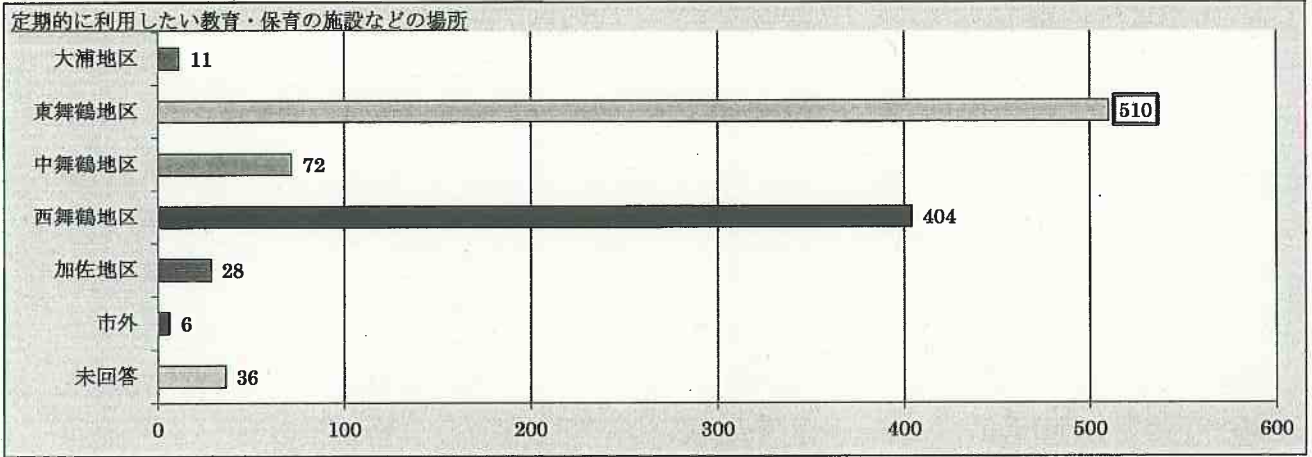


選択項目	H29 調査 1020 人 割合 (%)	H25 調査 835 人 割合 (%)
保育所	50.7	44.6
幼稚園（預かり保育利用なし）	37.8	31.3
幼稚園（預かり保育を定期的に利用）	16.0	33.7
認定こども園	18.9	3.6
小規模な保育施設	3.4	4.6
家庭的保育	1.9	1.8
事業所内保育所	6.6	4.7
上記以外の認可外の保育施設等	1.2	1.1
子育てひろば	20.0	—
療育センター・さくらんぼ園等児童福祉発達支援施設	3.1	2.2
ベビーシッターなど居宅訪問型保育	2.8	2.2
ファミリーサポートセンター	8.7	6.3
その他	1.7	1.4
未回答	1.9	—

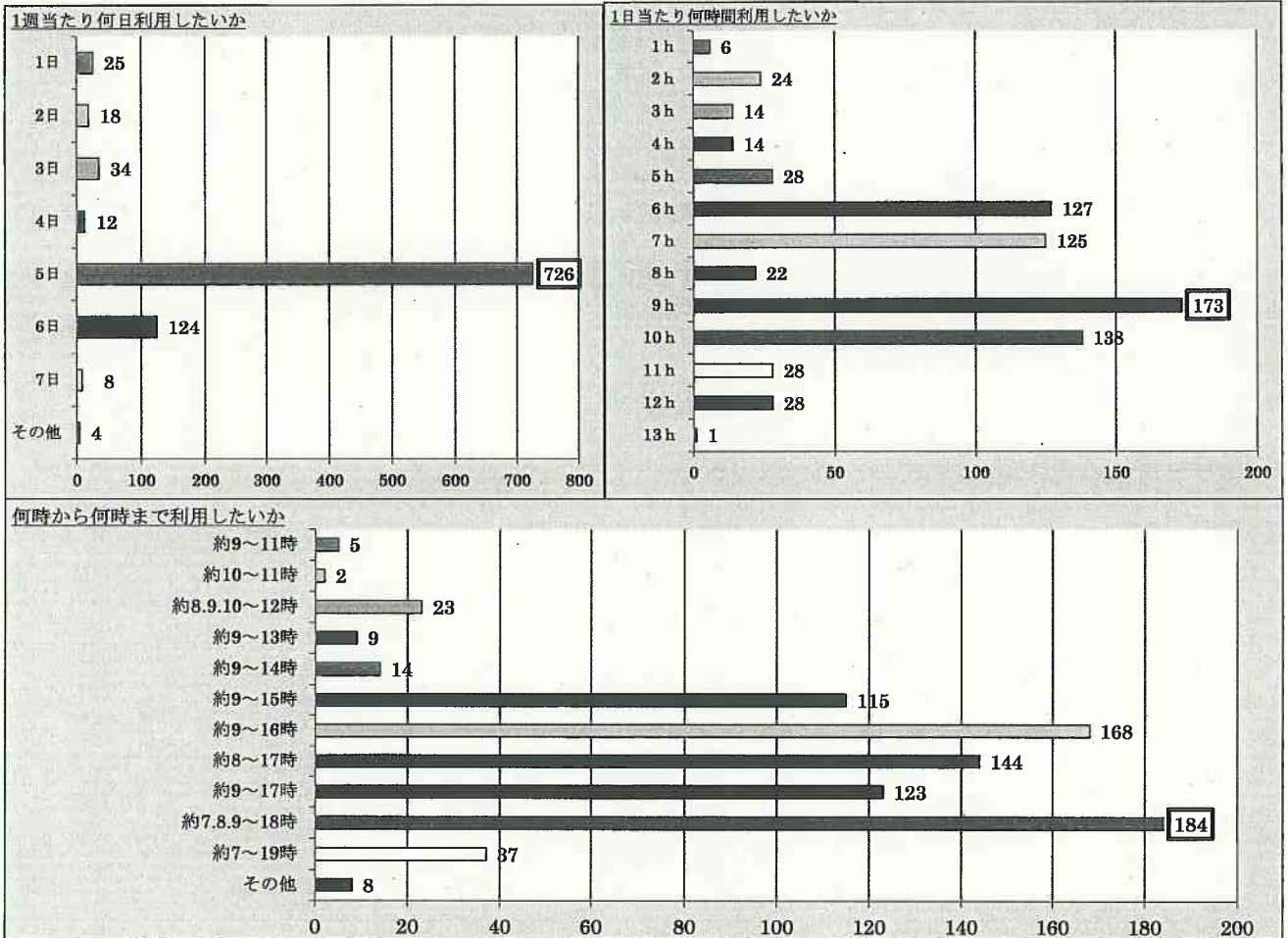
☞ 保育所利用が、44.6%から6.1ポイント伸びている一方で、幼稚園利用は65%から11.2ポイント下がっており、保育所ニーズが高くなっている。

また、伸び率では、認定こども園が3.6%から18.9%と大きく伸びており、幼稚園機能と保育所機能を併せもった「こども園」への期待が高くなっている。

問 22



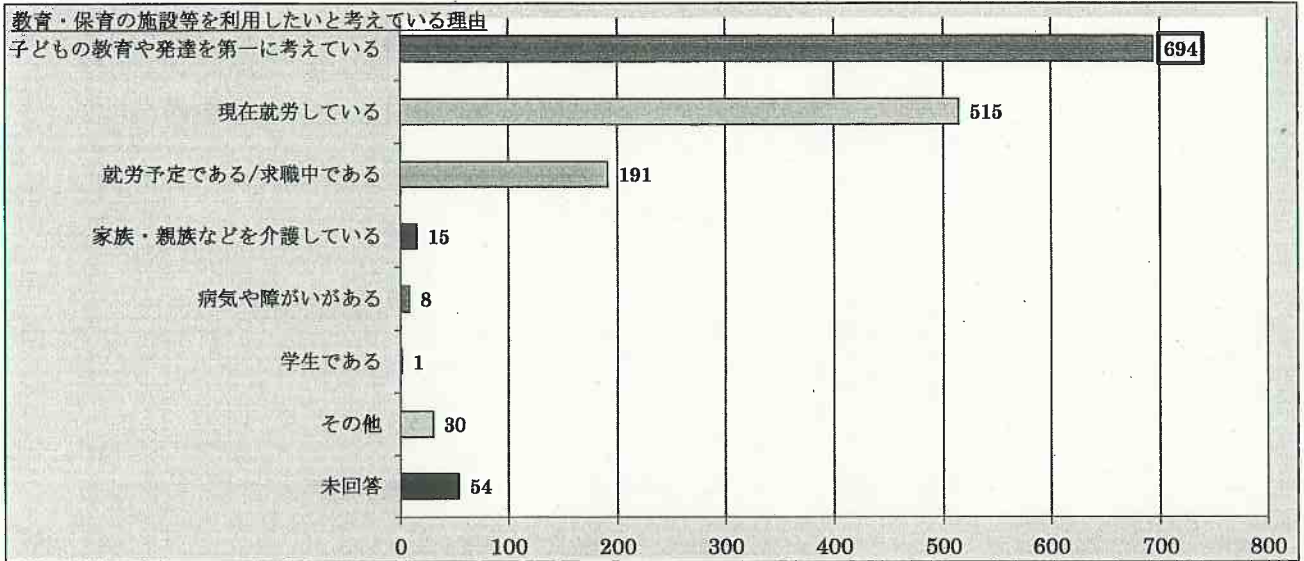
問 23



☛ 週5日 1日9時間が最も多く、次いで、10時間、6時間と続いており、保育所の標準時間利用や幼稚園の預かり保育のニーズが高くなっている。

問 24

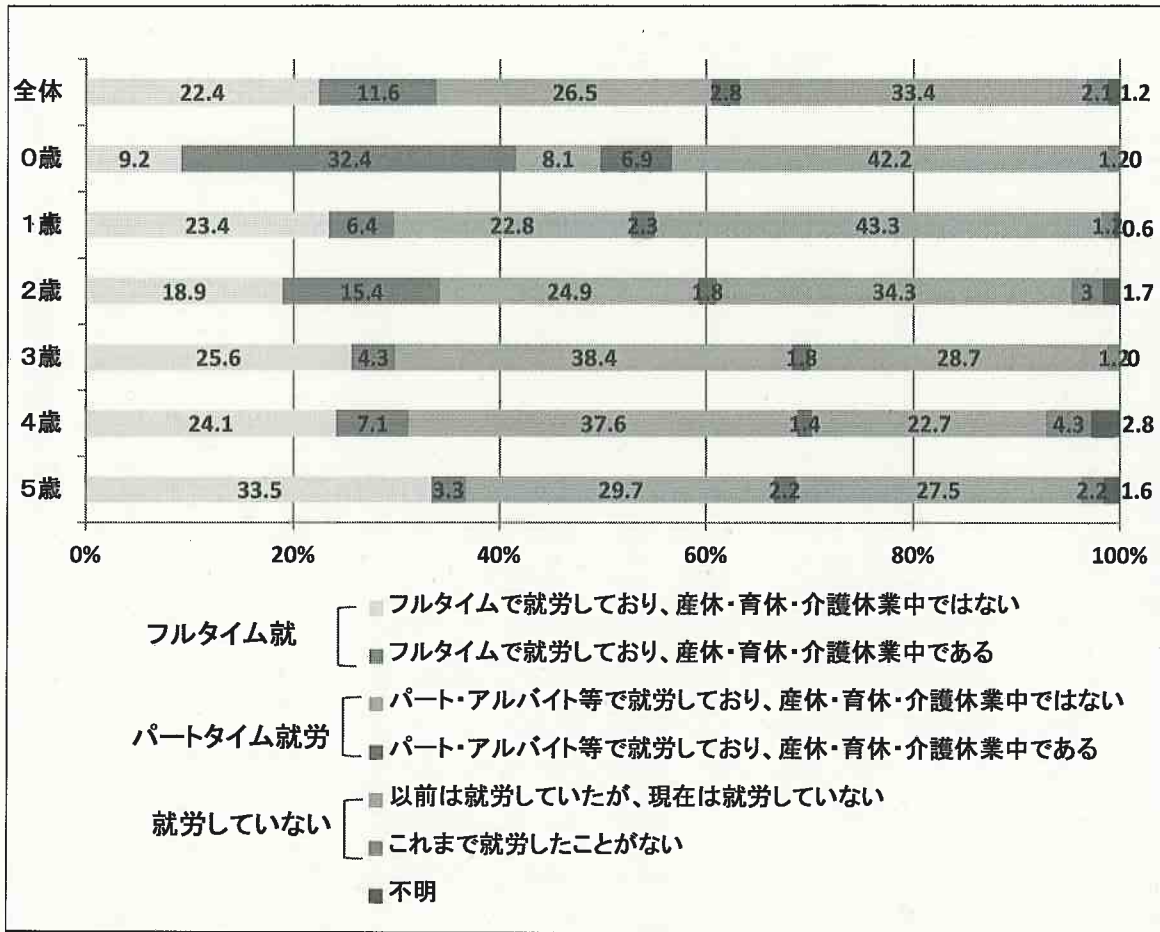
【複数回答あり】



選択項目	H29 調査 1020 人 割合 (%)	H25 調査 835 人 割合 (%)
子供の教育や発達を第一に考えている	68.0	64.7
現在就労している	50.0	39.8
就労予定である/求職中である	18.7	16.4
家族・親族等を介護している	1.5	0.8
病気や障害がある	0.8	0.5
学生である	0.1	0.0
その他	2.9	4.2
未回答	5.3	—

☛ 「子どもの教育や発達を第一に考えている」が68%で最も多い。次いで、「就労している」が50%となっており、前回と比較して、大きく10.2ポイント伸びている。

子どもの年齢別・母親の就労形態集計表

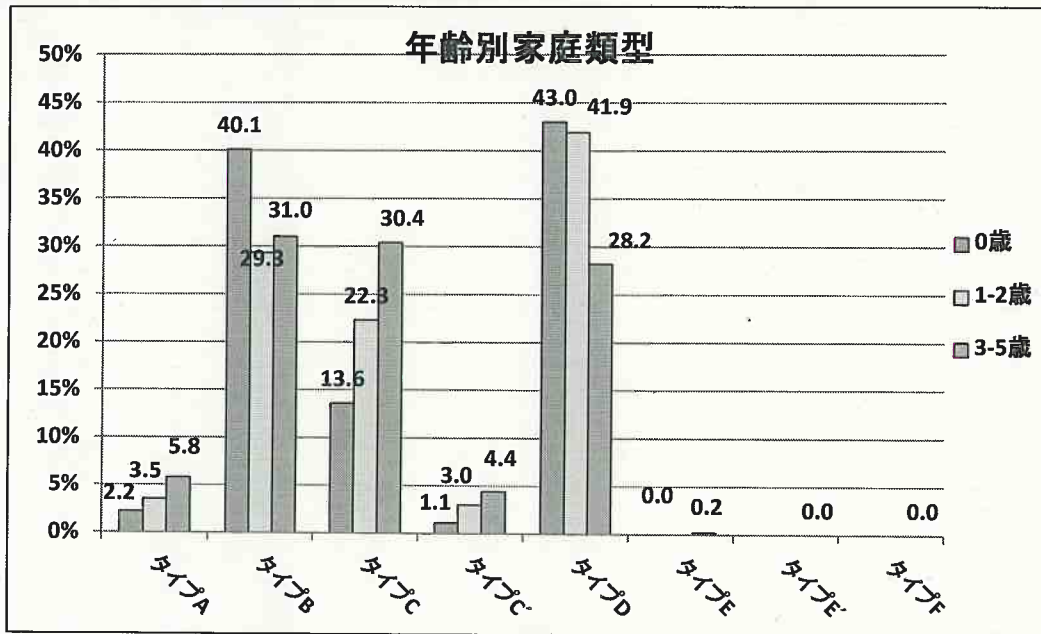


- 0歳児を持つ母親は、「就労していない」が最も多く、次いで、「フルタイムで就労しているが産休中である」が多い。
- 1歳児を持つ母親は、「就労していない」が最も多く、次いで、「フルタイムで就労している」が多い。
- 2歳児を持つ母親は、「就労していない」が最も多く、次いで、「パートタイムで就労している」が多い。
- 3歳児を持つ母親は、「パートタイムで就労している」が最も多く、次いで、「就労していない」が多い。
- 4歳児を持つ母親は、「パートタイムで就労している」が最も多く、次いで、「フルタイムで就労している」が多い。
- 5歳児を持つ母親は、「フルタイムで就労している」が最も多く、次いで、「パートタイムで就労している」が多い。

クロス2

年齢別家庭類型

家庭類型		0歳	1-2歳	3-5歳
タイプA	ひとり親	2.2%	3.5%	5.8%
タイプB	フル×フル	40.1%	29.3%	幼稚園希望 9.3% 21.7%
タイプC	フル×パート (月64時間以上)	13.6%	22.3%	幼稚園希望 16.5% 13.9%
タイプC'	フル×パート (月64時間未満)	1.1%	3.0%	4.4%
タイプD	専業主婦(夫)	43.0%	41.9%	28.2%
タイプE	パート×パート (双方月64時間以上)	0.0%	0.0%	0.2%
タイプE'	パート×パート (いずれかが月64時間未満)	0.0%	0.0%	0.0%
タイプF	無職	0.0%	0.0%	0.0%



☛ 専業主婦は、子どもが3～5歳になると大きく減少する。

クロス3

年齢別・家庭類型別 就園希望率

家庭類型		0歳	1-2歳	3-5歳
タイプA	ひとり親	75.0%	83.3%	96.6%
タイプB	フル×フル	40.1%	100.0%	98.0%
タイプC	フル×パート (月64時間以上)	85.9%	96.1%	98.6%
タイプC'	フル×パート (月64時間未満)	41.7%	90.0%	100.0%
タイプD	専業主婦(夫)	50.0%	91.6%	93.9%
タイプE	パート×パート (双方月64時間以上)	88.2%	0.0%	100.0%
タイプE'	パート×パート (いずれかが月64時間未満)	0.0%	0.0%	0.0%
タイプF	無職	0.0%	0.0%	0.0%

- ☛ 父母ともフルタイムで就労している家庭は、子どもが1・2歳になれば、就園希望が100%となっている。
- ☛ 父母がフルタイムとパートタイムで就労している家庭は、子どもが3～5歳になれば、就園希望が100%となっている。

教育・保育施設に係る市民ニーズアンケート調査における自由記述(抜粋)

1. 保育所全般

- | |
|--|
| ①各保幼、独自性を出すのはいいがその質に差が出ないように配慮してほしい。 |
| ②保育所や幼稚園の駐車場を整備してほしい。 |
| ③昼の薬を他の保育園のように飲ませてもらえるとありがたい。塗り薬は良いのになぜ飲み薬はだめなのか。 |
| ④就労していないのに保育所に子供を週6日も預けていたり、母子家庭を装って保育料を払わずに預けている話を耳にする。しっかり調査してから受入れて、本当に利用したいと思う人・利用が必要な人が使える保育園であってほしい。 |
| ⑤バスを利用できる園が少ない、また、制服・体操服等が高い。 |
| ⑥保育園ではオムツの処理までしてほしい。 |
| ⑦保育園でも幼稚園のように就学前児童が参加できるイベントを開催し、園の特色等少しでも知りたい。 |
| ⑧兄弟姉妹が違う保育園にいれられてしまう状況を改善してほしい。 |
| ⑨給食の試食会をしてほしい。 |
| ⑩保育園での様子をカメラなどで撮りスマホから見れるようにしてほしい。 |
| ⑪幼稚園との教育・保育の差がありすぎる。保育園の子は小学生へ向けて身につけておきたいことが身につけていないように感じる。 |
| ⑫職員を大切にモチベーションを上げて頂くことにより、結果子供にも良い環境づくりができる。きめ細やかな保育が出来るようを充実させてほしい。 |
| ⑬現在通っている保育園は園の都合で保育時間を短くされたり、盆や正月の休みが長い。希望する園に入れられないのだから園の都合で変更してほしい。 |
| ⑭親が保育内容で保育園を選べるようになってほしい。 |
| ⑮集団生活において、普段はできない体験などをさせてもらえているので良い。 |
| ⑯保育園でしっかり保育してもらい、その存在はとても大きく感謝している。 |
| ⑰今は発達支援なども重要視されている。小学校くらいまではそういった子にもきっちり教育して社会で通用できるようにしてほしい。 |
| ⑱認定こども園は増えて行ってほしい。また、西舞鶴だけでなく中舞鶴や東舞鶴にも出来るべきだ。 |
| ⑲時間が不規則な仕事では、事業所内に保育所があると助かる。もしくは、各職場から保育所等への送迎サービスなどがあると嬉しい。 |

2. 預かり保育

- | |
|---|
| ①土日・祝も安心して預けられる場所を増やしてほしい。 |
| ②夜間、24時間保育してくれるところが欲しい。夜勤があるがあるので長時間保育してくれる施設が一つくらいあってもよい。 |
| ③舞鶴には自衛隊があるし、その関係も踏まえてもっと早朝・延長保育の拡張を考えてほしい。 |
| ④18時以降は延長保育になるところを18時半にしてほしい。18時以降+300円はきつい。皆が皆同じ条件ではないのでひとくくりにはせず柔軟に考えてほしい。 |
| ⑤仕事や冠婚葬祭時、急な子供の熱の時等急に預けられるところがなく困っている。預けたいときにもっと気軽に利用できるように考えてほしい。保育所の一時保育の受け入れ枠が小さすぎるので受け入れ可能数を増やして欲しい。0歳はほぼない。1~2歳も少ない。 |
| ⑥一時保育リストに公表されているのに「在園児童でいっぱいの為受け入れられない」という理由で断るのはおかしいと思う。 |
| ⑦子供を預けるにあたっての補助金・預かりなどについて、妊娠した時点から知らせるなどしてもらえるとありがたい。 |
| ⑧公立保育所において、月数回、確実に利用できる枠と単発の利用できる枠などを設けてほしい。 |

3.保育料等

- | |
|---|
| ①保育料が高すぎるので安くしてほしい。 |
| ②保育料3人目は誰でも無料になるようにしてほしい。 |
| ③2人目以降は無料にしてほしい。 |
| ④保育料免除への不公平さを感じるので改善してほしい。所得により制限が変わるのは不公平だ。 |
| ⑤育休中の保育料をもう少し減額してほしい。 |
| ⑥義務教育の子供がいる家庭は、保育園・幼稚園関係なく補助金の対象になるようにしてほしい。金銭的な問題で子供を作るのをためらう人が多い。 |

4.入所待ち

- | |
|--|
| ①里帰り出産の為に保育所を一度退所した場合戻ってきたとき待機児童になってしまうのが納得できない。 |
| ②待機児童が多すぎるので何とかしてもらいたい。そのあたりのニーズを把握するべきである。 |
| ③保育士・保育所の数をもっと増やして少しでも待機児童削減に繋げてほしい。 |
| ④保育園入園の優先順位を決める点数を公表してほしい。不公平さを感じる。 |

5.幼稚園

- | |
|--|
| ①幼稚園も保育園と同じように長期休暇も保育日数を増やして頂けると働きやすい。夏休み中は数日間のみ保育日数なのに、他の月と同じ料金がかかるなどお金の面で負担が大きい。 |
| ②幼稚園でも、小学校に向けてもう少しひらがなや数字、ABC等教えてほしい。 |
| ③食物アレルギーに関して、幼稚園でも適切に対応してほしい。 |
| ④幼稚園の給食は保育園や小学に比べると質が低いように感じる。毎日食するものへの安全と安心、地産のもの等取り入れてもらいたい。 |
| ⑤幼稚園の先生も増やして欲しい。園庭での見守りが手薄になり事故に繋がるのでは、と不安だ。 |
| ⑥幼稚園の預かり開始が7:30になるとありがたい。また延長代がかかるところとかからないところがあるのは、不公平なので統一してほしい。 |
| ⑦幼稚園の園開放を増やしてほしい。 |
| ⑧私立幼稚園就学補助金について、子が1人の場合補助の額が少ないと感じる。 |
| ⑨舞鶴は幼稚園も多くの園もそれぞれ特色があっておもしろい。 |
| ⑩舞鶴の幼稚園は早くからはいれたり早朝預かりが手厚いのに知らない方が多い。 |

6.その他

- | |
|---|
| ①西地区にも病児保育の施設を作って欲しいし、1つでは少ないので全体的に病児保育施設を増やしてほしい。 |
| ②一人親同士のコミュニティーの機会が欲しい。同じくらいの子供を持つ親同士や他県から来て困っている親等が集まる場を作してほしい。 |
| ③幼稚園や保育所の施設案内のようなチラシが1つにまとまった冊子を作してほしい。 |
| ④出産届出の時などに子供を預ける施設等がわかるパンフレットを作成し、配布してはどうか。 |
| ⑤幼稚園・保育園に行っていない家庭にも情報がほしい。 |
| ⑥障害を持った子が使用できる器具や装具は購入前にレンタルで試してみたい。 |
| ⑦乳幼児の金銭的な補助を充実させてほしい。また、4月に準備金がほしい。 |
| ⑧祖父母がいない世帯、独り身の親にももう少し目を向けるべきだと感じる。また、父子家庭の現実も厳しいので母子家庭と同様、手当の幅を広げてほしい。 |
| ⑨幼稚園を3月に卒業してから入学の4月までの間、この時期は幼稚園も保育園も預けられないが、他の親はどうされているのか。 |
| ⑩舞鶴市の子育て支援は充実しているがもう少し地域の方の力を借りれる支援があればよい。 |
| ⑪舞鶴は子供を無料で遊ばせられるところが多いので助かっている。 |